

資料4-1  
令和3年度第1回  
事業評価委員会

# 東京都市計画道路補助第26号線 (目黒区目黒中央町一丁目～ 目黒区鷹番二丁目)

令和3年7月2日(金)  
建設局道路建設部

# 目次

1. 事業概要	.....	1
2. 社会経済情勢等の変化	.....	9
3. 事業の投資効果	.....	12
4. 事業の進捗状況	.....	18
5. 事業の進捗の見込み	.....	20
6. コスト縮減等	.....	21
7. 対応方針(原案)	.....	22

# 1. 事業概要

## 全体図

補助第26号線(全線)

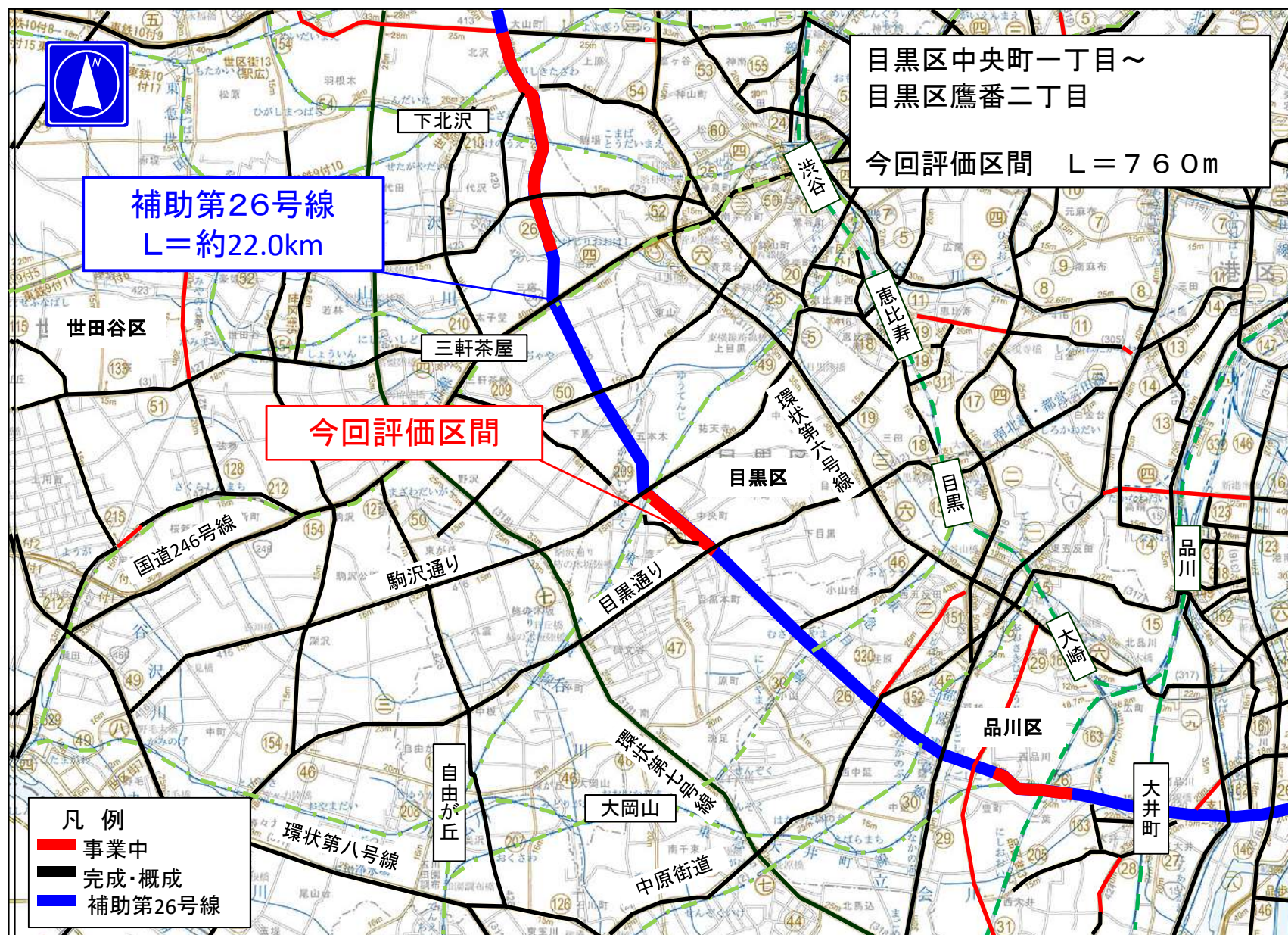
- 品川区東大井一丁目  
～板橋区氷川町
- 延長 約22.0km

今回評価区間

- 目黒区中央町一丁目  
～目黒区鷹番二丁目
- 延長760m
- 幅員20m



# 1. 事業概要



# 1. 事業概要

## 事業期間

平成19年度～令和7年度

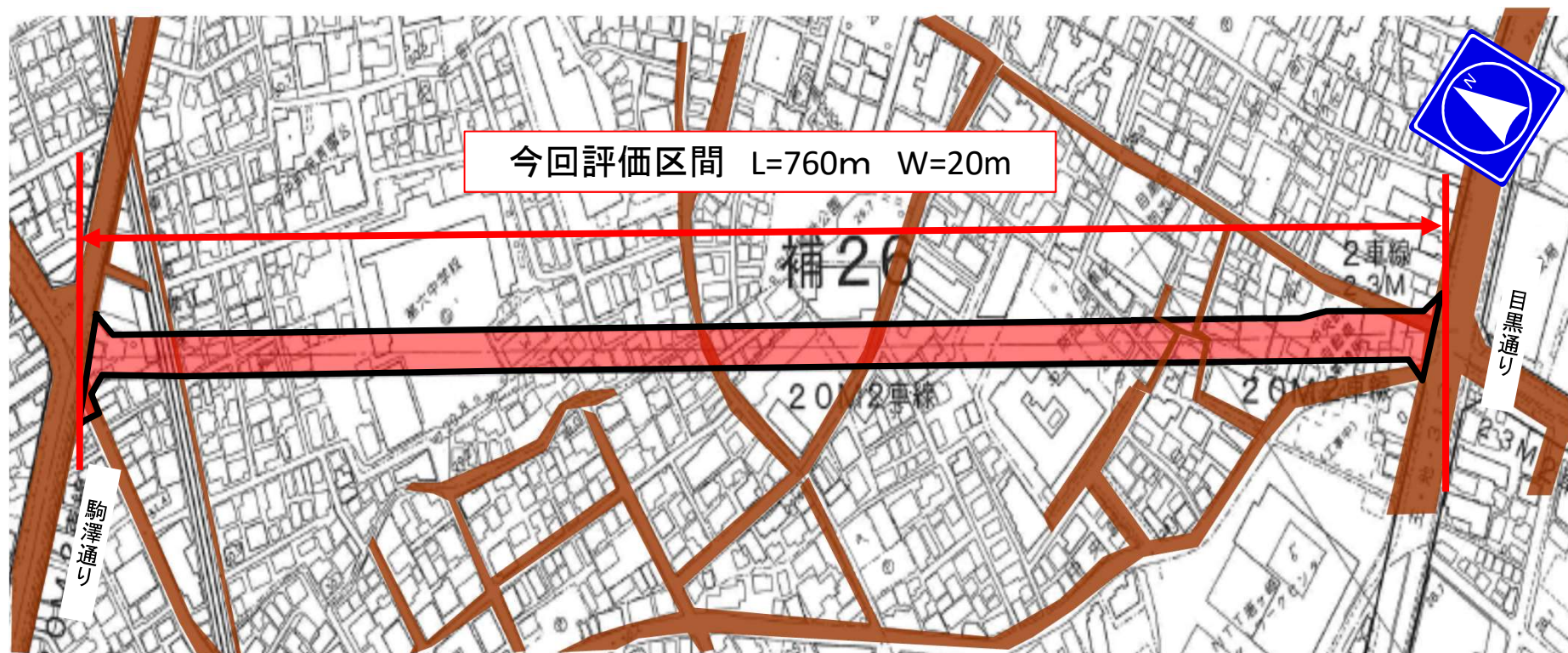
## 事業の概要

本路線は、区部における南北方向の道路ネットワークを強化し環状道路の役割を担う重要な路線である。

本区間の整備により、区部南部の道路ネットワークが形成され、交通渋滞の緩和と交通の円滑化が期待できる。また、電線類の地中化や街路樹の植栽により、良好な都市景観を創出するとともに、地域の安全性、防災性の向上が期待できる。

# 1. 事業概要

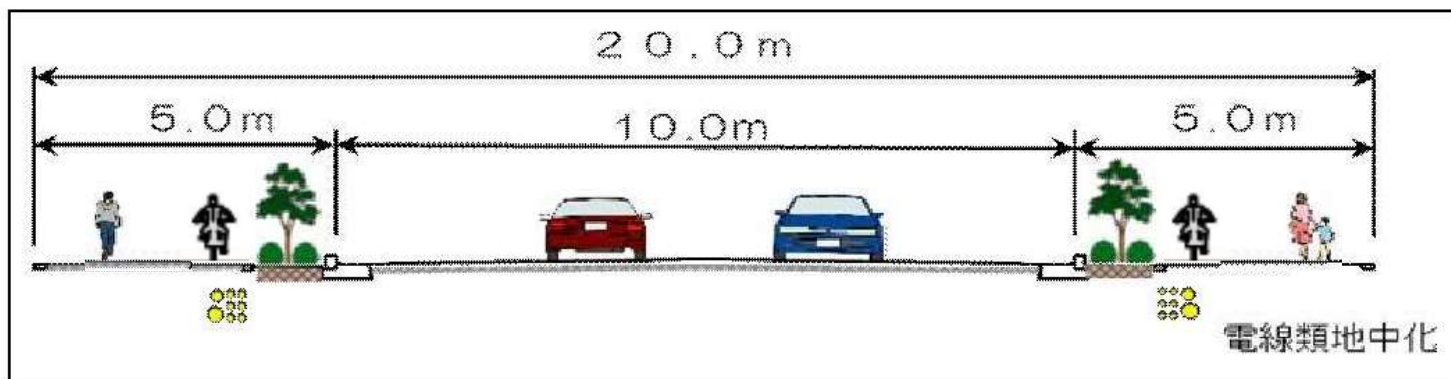
## 平面略図



# 1. 事業概要

## 横断略図

### 断面図



# 1. 事業概要

## 現況写真

①

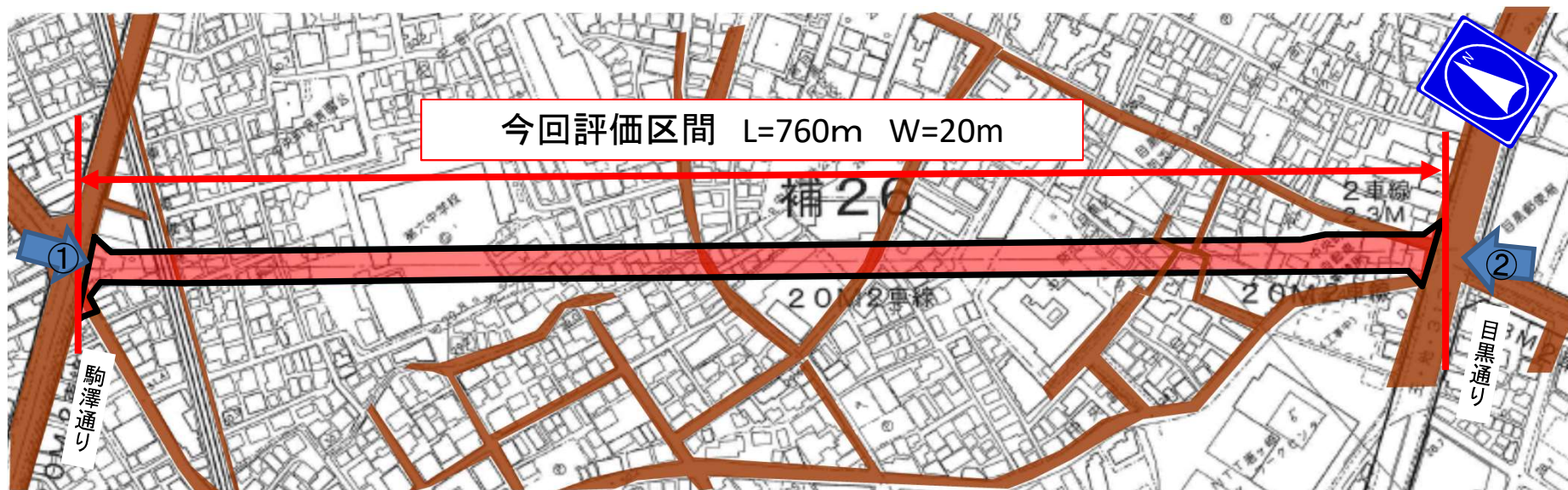


終点側(駒沢通り側)

②



起点側(目黒通り側)





# 1. 事業概要

## 現況写真

③

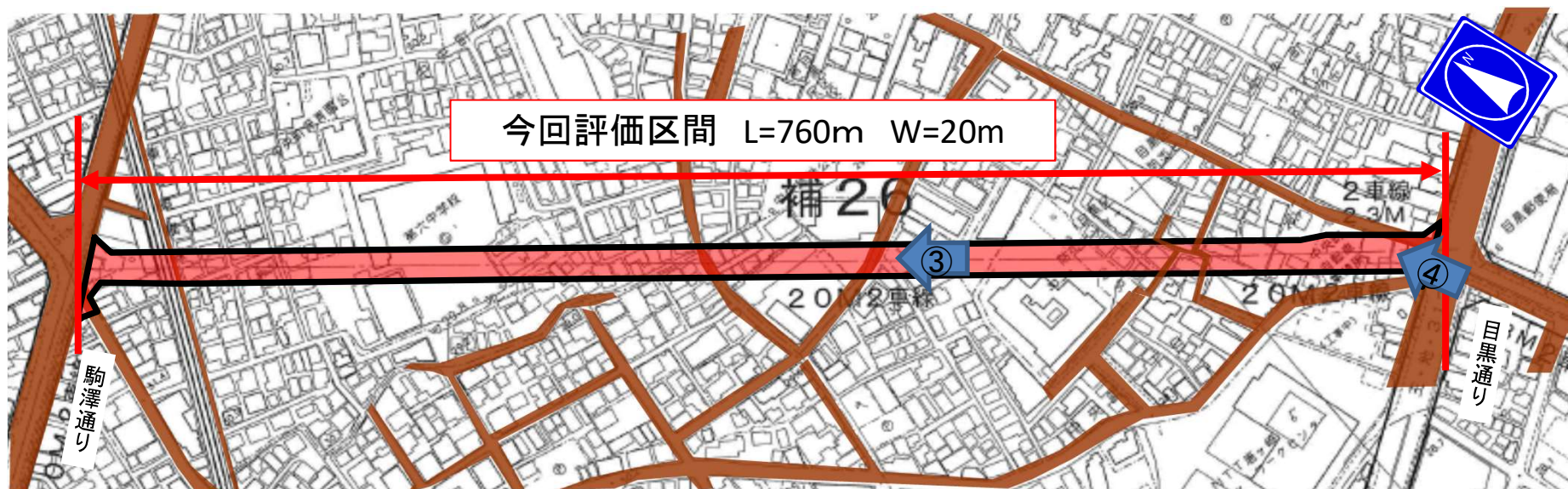


事業区間中間部付近

④



一方通行出口付近



# 1. 事業概要

## 経緯

年度	計画等
昭和21年4月25日	都市計画決定
平成19年9月6日	事業認可取得
令和8年3月31日	事業認可期間

## 2. 社会経済情勢等の変化

### 社会経済情勢の変化

本路線周辺の平成27年度の現況交通量は、平成22年度と比較して、横ばいとなっている。

現況自動車交通量【補助26号線】(道路交通センサスによる)

①平成22年度:4,943台/12h 平成27年度:4,425台/12h



## 2. 社会経済情勢等の変化

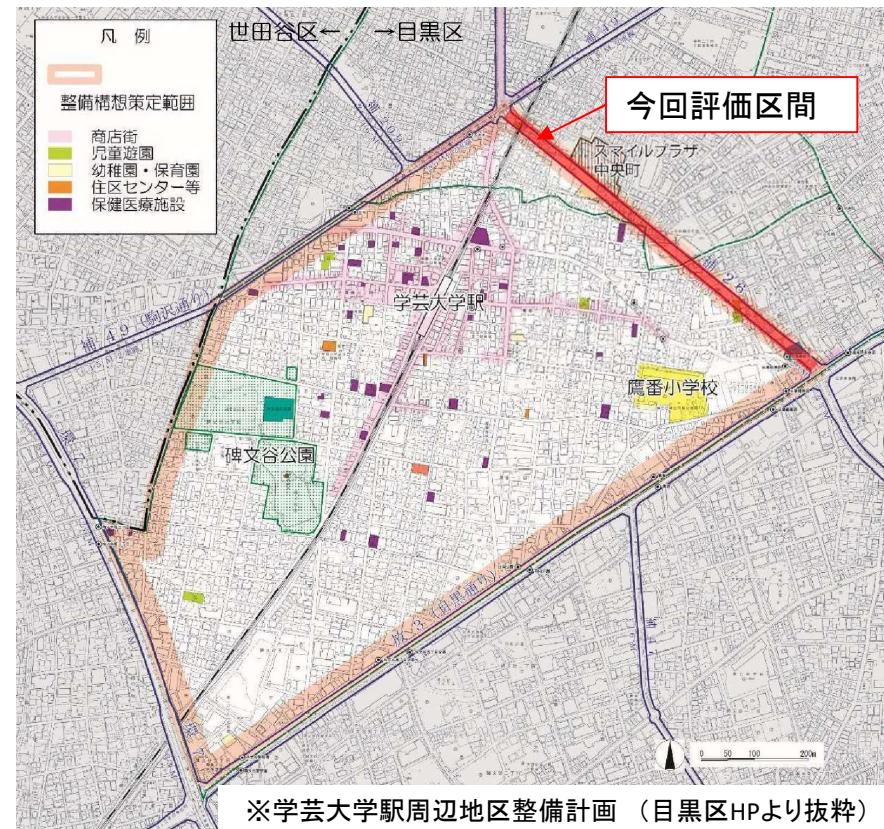
### 事業を取り巻く状況の変化

- ・平成31年3月に「学芸大学駅周辺地区整備計画※」が改定され、補助第26号線の完成を見据えた街づくりが検討されている。

※計画期間：平成31年度～平成40年度

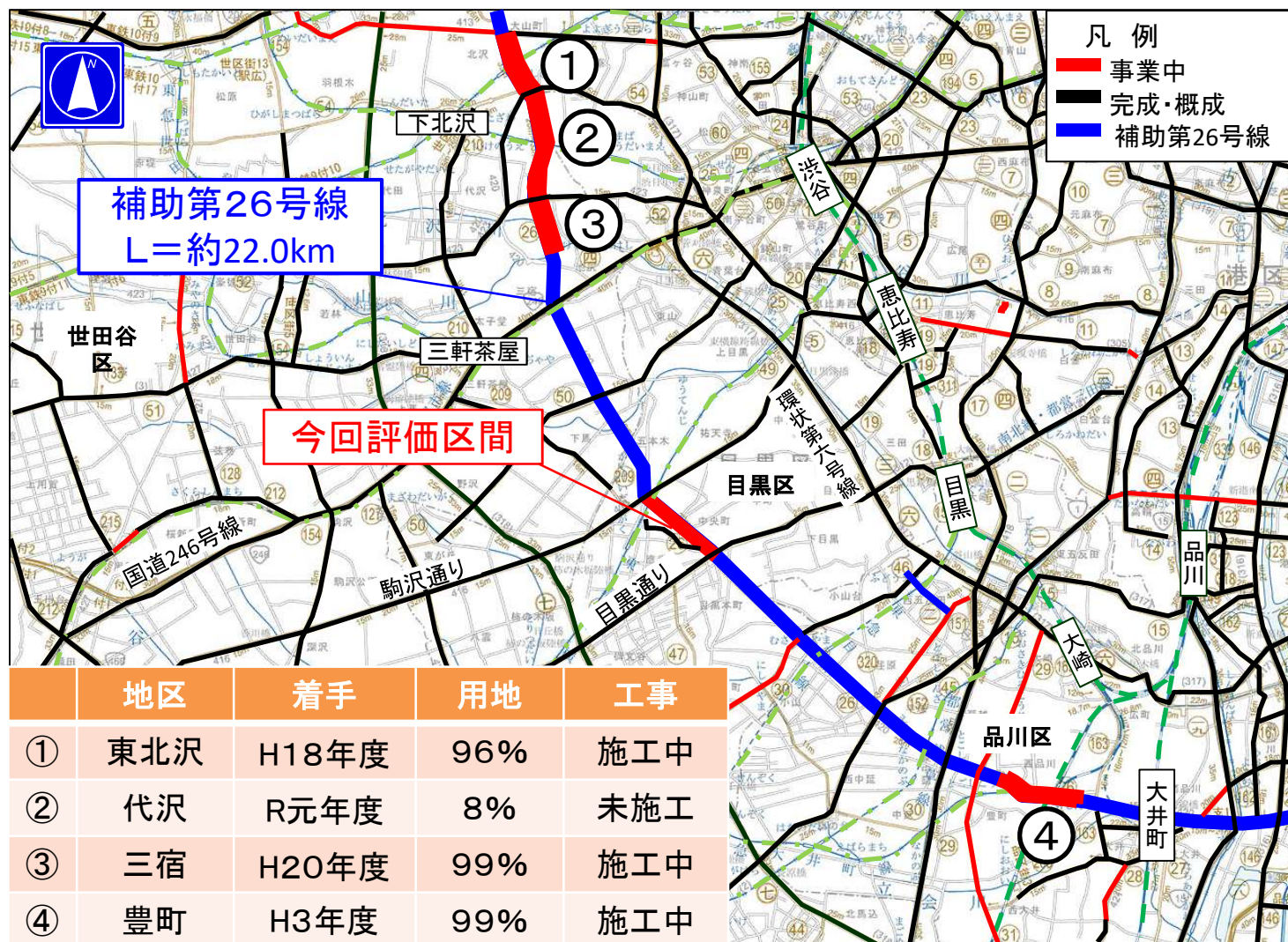
(経緯)

- ・平成19年3月  
学芸大学駅周辺地区整備構想を策定
- ・平成20年3月  
学芸大学駅周辺地区整備基本方針を策定
- ・平成21年3月  
学芸大学駅周辺地区整備計画等を策定
- ・平成31年3月  
学芸大学駅周辺地区整備計画を改定



## 2. 社会経済情勢等の変化

### 関連する他事業等の進捗状況の変化



### 3. 事業の投資効果

#### 定量的効果

##### 【便益(B)の算定】

現在価値化総便益額	449.4億円
走行時間短縮便益	393.8億円
走行経費減少便益	47.4億円
交通事故減少便益	8.1億円

##### 【費用(C)の算定】

現在価値化総費用額	236.3億円
工事費	19.6億円
用地費	213.3億円
維持管理費	3.4億円

※費用便益分析マニュアル(国土交通省 平成30年2月)に基づき分析

##### 【費用便益比(B/C)の算定】

$$\underline{B/C = 1.9}$$

# 3. 事業の投資効果

## 定性的効果

### <交通>

- 交通渋滞の解消
- 物資流動円滑化への寄与
- 鉄道駅アクセスの向上
- バスの定時性
- 迂回交通の減少

### <景観>

- 都市景観の向上

### <防災>

- 緊急車両の走行
- 災害時の避難路の確保
- 延焼遮断

### <くらし>

- 公共施設へのアクセス向上

### <安全>

- 交通事故の減少
- バリアフリー化
- 自転車や歩行者のための空間確保

### 3. 事業の投資効果

#### 定性的効果

＜交通＞・交通渋滞の解消 ・迂回交通の減少  
本区間の整備により、区部南部の道路ネットワークが形成され、  
渋滞の緩和と交通の円滑化が期待できる。

①



現況(目黒通り)

②



現況(駒沢通り)



凡例	
■ 赤線	事業中
■ 黒線	完成・概成
■ 青線	補助第26号線

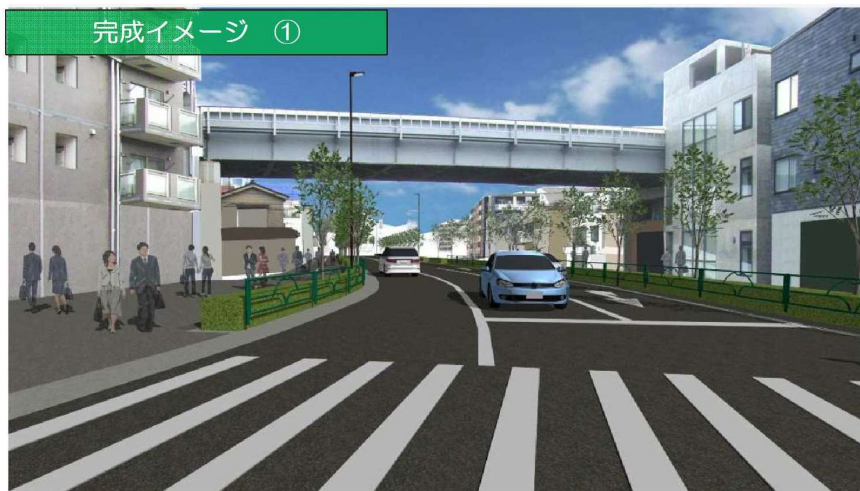


# 3. 事業の投資効果

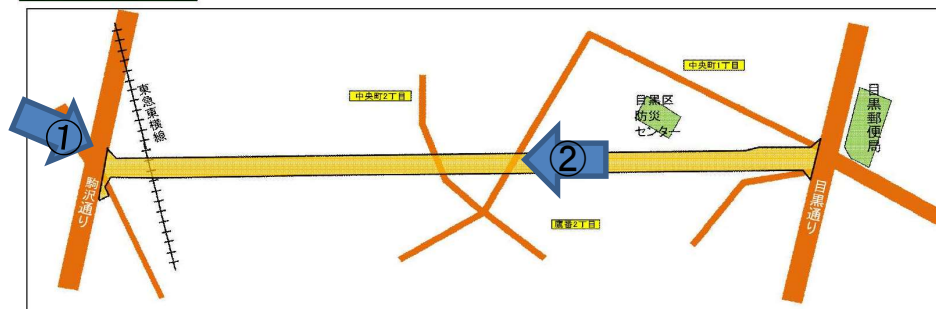
## 定性的効果

- <景観>・都市景観の向上
- <安全>・自転車や歩行者のための空間確保

歩道と自転車道を整備し、電線類を地中化することで、  
快適で安全な歩行空間が確保され都市景観の向上が見込まれる。



平面図



### 3. 事業の投資効果

#### 定性的効果

＜防災＞・緊急車両の通行 ・災害時の避難路の確保

鷹番小学校は、目黒区地域防災計画に基づく避難拠点に、林試の森公園一帯は避難場所に指定されているため、**災害時の避難路が確保**される。緊急車両の**走行が可能**となるため、目黒消防署から駒沢通り方面への到達時間の短縮が期待される。



## 4. 事業の進捗状況

### 事業費の執行状況

(R2年度末時点)

	用地費	工事費	合計
全体事業費	16,010百万円	1,590百万円	17,600百万円
執行済額	15,904百万円	341百万円	16,245百万円
執行率	99.3%	21.4%	92.3%

### 用地取得状況

取得予定面積 (A)	既取得面積 (B)	用地取得率 (B/A)
14,133m <sup>2</sup>	13,852m <sup>2</sup>	98.0%

## 4. 事業の進捗状況

### 一定期間を要した背景等

- ・本事業は、現道のない新設道路の整備であり、地権者が多いことに加え、権利者多数の区分所有マンションが複数存在することから折衝に時間を要した。

### 事業の進捗状況・残事業の内容

- ・周辺住民の当該事業に関する理解も得られている中で、未取得用地の早期更地化を目指し、折衝を進めている。
- ・現在、照明設置工事を実施しており、引き続き、用地取得が完了し、工事可能な箇所から排水管設置工事や電線共同溝設置工事、街路築造工事に着手していく。

## 5. 事業の進捗の見込み

### 今後の事業の進捗見込み

- ・関係人の理解を得ながら用地取得を進める。
- ・工事可能な箇所から排水管設置工事や電線共同溝設置工事、街路築造工事に着手していく。



現況(事業区間中間部付近)

## 6. コスト縮減等

### 新工法、事業手法、施設規模等の見直しの可能性

- ・一般的な街路築造工事であるため、施工にあたって、新工法、事業手法、施設規模等を見直す可能性は極めて少ない。

### コスト縮減の取組

- ・施工にあたっては、建設発生土の再利用や再生材の使用を行っていく。

## 7. 対応方針(原案)

- 本路線は、区部における南北方向の道路ネットワークを強化し、環状道路の役割を担う重要な路線である。
- 本区間の整備により、区部南部の道路ネットワークが形成され、交通渋滞の緩和と交通の円滑化が期待できる。また、電線類の地中化や街路樹の植栽により、良好な都市景観を創出するとともに、地域の安全性、防災性の向上が期待できる。
- 中止の場合は、事業効果を発現できないだけでなく、これまでの投資に見合った整備効果も得られなくなる。



継 続